

## （主な意見・質問）

（問） 3校が統合した場合、おそらく教員数も増えると思うが、どの程度増える見込みがあるのか。

（答） 現在の3校の中学校の教員数は、愛宕中13人、八代中20人、松柏中13人である。この中に校長、事務職員、養護教諭も含まれているが、非常勤職員は入っていない。仮に令和7年度に統合が実現すれば、中学3年生は、通常学級112名で3学級、特別支学級が6名。2年生は、通常学級が155名で4学級、特別支援学級が9名。1年生は通常学級が117名で3学級、特別支援学級は8名となり、合計で13～14学級程度となる。教員数は27人くらいになる予定である。令和8年度の新入生も3～4学級、その後の3年間も少なくとも3学級は維持されると思うので、教員数も同程度だと思う。

（問） 生徒数が多い方が良いと思うので、3校統合は賛成である。令和7年度から統合するのであれば、1年前倒しの令和6年度から3校が一緒に部活動ができればいいと思う。例えば、愛宕中の生徒が八代中でサッカーができるようになるなど、子どもたちの選択肢を増やしてほしい。

（答） これまでは、県中学校体育連盟の規制が厳しかったが、全国的にも子どもの数が減少し、合同チームが増える中で、規制が緩やかになった。例えば、旧八幡浜市のサッカー部の拠点校を八代中と指定すれば、愛宕中と松柏中の生徒が学校を変更しなくても八代中でサッカーができるようになる。どの部活動を拠点校とするかは決まっていないが、その方向で進めていきたい。

また、6月の総体が終わり、3年生が引退後、1・2年生だけでは団体戦が組めない部活動が八代中でも出てきている。新人戦からでも教育委員会が拠点校方式を採用すれば、合同チームとすることは可能だと中体連からの確認が取れているので、新人戦から希望する学校については、考えていきたい。

（問） 統合により、なくなる部活動があるのか。

（答） 今のところ、統合により、なくなる部活動はないと思う。

（問） 令和7年度に統合するのであれば、今の中学1年生が3年生になった時だと思う。例えば、令和7年度に人数が十分確保されている部活動でも、中学3年生になった4月からいきなり3校が一緒に部活動をするということになるのか。

（答） 仮に今年度末に3校統合の調印式が行われたら、来年の新人戦から3校が一緒に練習し大会にも出場できるので、いきなり令和7年4月1日から一緒になるということではない。

また、最後の年だから自分たちの学校で終わりたいという子どもたちもいると思うので、チームが組めるなら新人戦は各学校で出場し、新人戦が終わった日から3校の合同練習を始めることも考えられる。

（問） 全国で部活動の地域移行が進んでいると思うが、八幡浜市の動向や統合後の関わり方、それに伴って総体や各種大会がどのようになるのか見通しがあれば教えてほしい。

（答） 部活動の地域移行は、それほど進んでいない。本市の場合は、地域移行ではなく地域展開という言い方にしようと思っている。昨年度、中学校の全教職員を対象にアンケート調査を行い、その

後、準備委員会を立ち上げて、話し合いを始める必要があったが、現場の声が大事だと思っているので、これまでに各中学校の校長、中体連の理事長と理事を集めて3回ほど意見交換会を行っている。

その中で、まだ土日の休日に誰が指導するかは見通しが立っていないが、部活動指導員という制度を活用していこうと考えている。例えば、八代中の女子剣道部の顧問が転勤により、新たな教員が顧問となったが、全く剣道の経験がないということで、地域の指導者を探していたところ、同じ女性で剣道の有段者で、自分自身も剣士として県選抜に出場している指導者が八幡浜市にいたので、その人をお願いをする予定である。また、拠点校制度の採用については、校長や中体連の理事者との話し合いを進めているところである。その上で、準備委員会を立ち上げていこうと考えている。

(問) 令和7年度の統合により、愛宕中と松柏中が閉校となり、八代中の場所に移るということは分かった。ただ、この統合により、八代中学校という名前がなくなり、おそらく、校章やシンボルカラーも変わると思うが、学校の場所は変わらないという状況の中で、八代中の生徒は他の出身校の子どもたちとは違う複雑な状況に置かれるのではないかと心配している。統合準備委員会を立ち上げるということだが、その中で児童生徒の声を聞く機会はあるのか。子どもたちの気持ちの整理をする時間も必要だと思うので、そのための子どもたちの意見を聞く場が増えると良いと思う。

(答) 保内中と青石中が平成29年4月に統合し、学校名は保内中と決まったが、実際には保内中も青石中も閉校し、新しい保内中として校歌づくりに取り組んだ。新しい校歌の歌詞には、両校の生徒の思いや願いが込められている。統合後のアンケートを実施したところ、統合前に不安を感じていた生徒が多かった青石中の方が統合して良かったという割合は高かった。今後も新しい取り組みをしていく中で、子どもたちの意見を聞く機会もあると思うので、今の意見を参考にしたい。

(意見) 校歌を一緒に考えていくという試みも確かに必要だと思う。過去にも統合をした経験もあるので、それを活かして子どもたちの心構えをしっかりと持った状態で、令和7年4月1日を迎えられたら良いと思う。